

3

景観区分ごとの基本方針と景観形成ガイドライン

3-1 面的景観

1 駅前商業地ゾーン



▲結城駅南口周辺

現況

JR結城駅は、市の玄関口となっており、駅前や幹線道路沿道に店舗や業務施設などの施設が立地し、結城の顔となる中心市街地が形成されています。また、電線地中化などにより、新しい街並みが形成されています。



▲結城駅北口周辺

目 標

- 本市の「顔」、交流拠点として、魅力的な商業空間、にぎわいのある景観の形成
- 北側に連続する「中心歴史文化交流ゾーン」との景観的連続性に配慮した、建築物のデザインや街並み景観形成の誘導
- 中高層建築物の適正な立地誘導・景観的配慮
- 憩いと交歓のある広場や回遊及び滞留できる空間の形成
- 広告・看板等の制限・誘導、景観を阻害しているものの整序
- 駅前広場、公共公益施設及びその周辺の魅力化（景観シンボルの形成）
- 道路空間と一体となった緑化の推進
- 案内表示などサインの充実・統一など

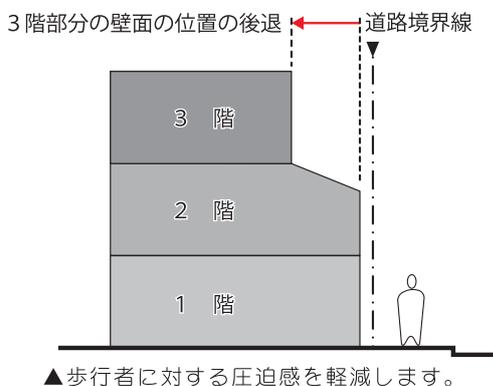


▲結城駅北口周辺

建築物

■ 壁面の位置【3階以上の壁面の後退】

○原則として、県道結城停車場線沿道に面する建築物の3階以上の壁面の位置は、道路境界線から一定限後退させましょう。



■ 色彩【効果的な強調色(アクセントカラー)】

○原則として、低層部に小さく使用し、使用する色彩相互の調和に十分配慮しましょう。



▲強調色(赤)を上手に取り入れた例(商業地としてのにぎわいを創出しながらも、けばけばしくならない色彩デザインとなっています。)

屋外広告物

■ 色彩【コーポレートカラー*1】

○できる限り、彩度*2の高い色彩を大面積で用いることは避けましょう。



▲彩度の高い文字広告を抑えた例(品のある景観形成に寄与しています。)

その他

■ 照明等【夜間景観】

○壁面等のライトアップ、ディスプレイの照明などを工夫しましょう。



▲照明をうまく使って夜間の景観演出を行っている例(お店の雰囲気づくりにも効果的です。)

緑化

■ 沿道緑化【魅力ある景観形成】

○できる限り、店先などにフラワーポット等を設置しましょう。

■ 敷地内緑化【うるおいある景観形成】

○敷地規模に余裕のある場合は、できる限り敷地内の緑化に努めましょう。

■ 建築設備等【景観的配慮】

○できる限り、外壁や屋上などに設ける設備が目立たないように配慮しましょう。

■ 駐車場・駐輪場【道路に面する部分】

○できる限り、緑化に努めましょう。

※以上に示すもののほか、対象となる各項目に対しガイドラインを定めています。
※ガイドラインの詳細については、都市計画課までお問い合わせください。(他のゾーンについても同様です。)

*1【コーポレートカラー】：企業や団体等の組織を象徴する色のことを言います。

*2【彩度】：色の鮮やかさを示す尺度です。彩度が高くなると色はカラフル(派手)になっていきます。

2 中心歴史文化交流ゾーン

現況

結城の旧市街地は、主に明治時代初期から大正時代に建てられた「見世蔵」や、数多くの神社、寺院、史跡など、歴史的な建築物や古い街並みが残っており、当時の面影を今に伝える、蔵づくりの街並みを形成しています。

また、城下町として栄えた結城は、城下町の町割り、東西南北の箱形の街区、四方から入る街道、辻や曲折した道路など、城下町の面影を残しています。このため、風情のある魅力的な路地空間が形成されています。

蔵美館▶
▼つむぎの館



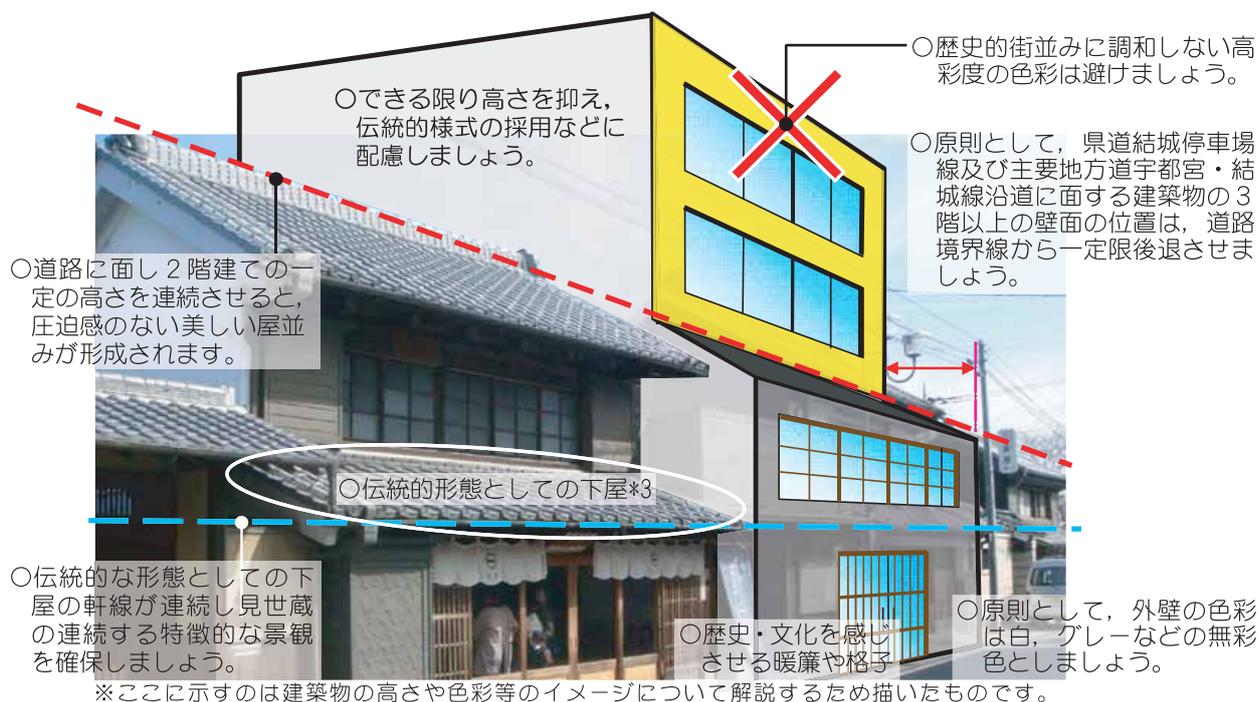
▲健田通り
◀県道結城停車場線

目
標

- 見世蔵など歴史的建築物や、神社、寺院、史跡等の地域資源の保全・活用
- 周辺と調和したデザインや連続性のある歴史的な街並み景観形成の誘導
- 中高層建築物の適正な立地誘導・景観的配慮
- 安心して歩くことができる歩行者空間の創出、回遊及び滞留できる空間の形成
- 広告・看板等の制限・誘導、景観を阻害しているものの整序
- 公共公益施設及びその周辺等の魅力化（景観シンボルの形成）
- 案内表示などサインの充実・統一 など

建築物

■ 歴史的景観に配慮したデザインの考え方【壁面の位置・高さ・形態・外壁の色彩等】



▲ 伝統的なデザインを上手に取り入れた事務所の例



▲ 歴史的建築物の形態を踏襲した新しい店舗の例



▲ 和風のデザインを取り入れた中層マンションの例

※ここに示すのは建築物の高さや色彩等のイメージについて解説するため描いたものです。

工作物

■ 門・塀等の形態意匠等【景観的調和】

○門、塀等を設ける場合は、形態意匠、素材、仕様等に配慮しましょう。



▲ 石積基礎や落ち着いた色彩を用いて歴史・文化景観に配慮したフェンスの設置例

その他

■ 駐車場・駐輪場【景観への配慮】

○やむを得ず道路に面して設置する場合は、その見え方に配慮しましょう。



▲ 道路に面する駐車場の見え方に配慮し、伝統的な格子デザインを取り入れた例

*3【下屋（げや）】：1階部分で、主屋の屋根から一段下がった位置より下げ降ろした片流れの屋根、又は屋根下の空間のことを言います。

3 沿道市街地ゾーン



現況

国道50号バイパス, 旧国道50号(県道結城下妻線), 県道結城野田線などの沿道には, 店舗や業務施設などの沿道サービス型商業地が形成されています。

◀大規模店舗



▲国道50号バイパス



▲県道結城坂東線



▲県道結城野田線

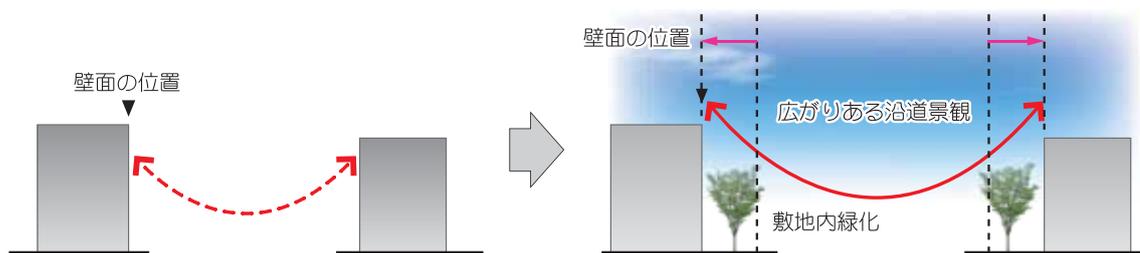
目標

- 周辺住宅地など環境に配慮した景観形成
- 建築物のデザインや色彩など一体的な景観形成の誘導
- 広告・看板等の制限・誘導, 景観を阻害しているものの整序
- 沿道緑化や敷地内緑化の推進
- まちの出入口の魅力化
- 質が高く個性的な道路空間の創出
- 案内表示などサインの充実・統一 など

建築物

■ 壁面の後退【広がりのある沿道景観の形成】

○道路境界線から一定限後退させましょう。（約1m程度）



▲道路近くに建物が建ち並ぶと、壁面による圧迫感や沿道景観の広がりを感じられなくなってしまいます。

▲できる限り壁面の位置を後退させ、広がりある沿道景観を確保するとともに、後退した空間には積極的な緑化修景を図りましょう。

■ 形態意匠【落ち着いたある良好な沿道景観の形成】

○原則として、奇抜な形態は避け、隣接する建築物同士の形態的調和に努めましょう。



▲落ち着いた形態で周辺の景観に調和するよう配慮された沿道立地の建築物の例



▲シンプルな形態でアクセントカラーを品よく使用した建築物の例

屋外広告物

■ 色彩【建築物との調和】

○できる限り、建築物の色彩との調和に配慮した色彩を用いましょう。



▲彩度が非常に高く、表示面積も大きいけばけばしい印象を与えるような看板の設置は避けましょう。

緑化

■ 敷地内緑化【うるおいある景観形成】

○敷地規模に余裕のある場合は、できる限り敷地内の緑化に努めましょう。



▲敷地内駐車場を緑化ブロックや植栽の配置により積極的に緑化した例

4 既成市街地ゾーン

現況

中心市街地の周辺及び市街地縁辺部には、住宅を中心とした低層建築物による既成市街地が形成されており、沿道には店舗や倉庫などが立地するなど、住工商が混在した市街地となっています。

また、駐車場や空地なども点在しているほか、全体的にまちの歴史を感じさせるたたずまいとなっており、老朽化した建築物や、狭い道路、密集した建物なども見られます。



◀ 県道小山結城線
▼ 戸野町



▲ 県道小金井結城線
紺屋町▶



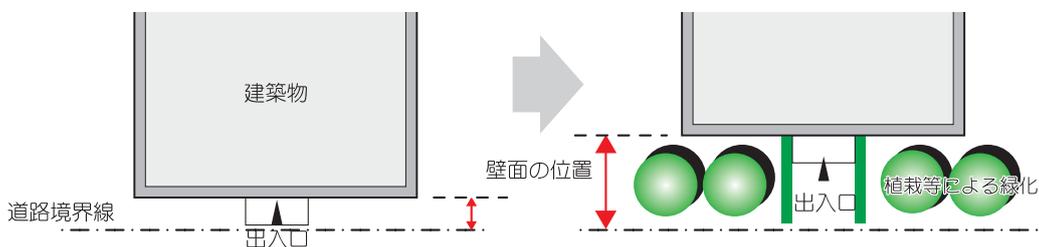
目標

- 地区や街区の性格に応じた景観の誘導
- 住宅、商業、工業等の共存・調和（住環境など周辺に配慮した景観形成）
- 歴史的建築物、神社や寺院等の地域資源の保全・活用
- 建築物のデザインや連続性のある沿道の景観形成の誘導
- 安心して歩くことができる歩行者空間の創出
- 広告・看板等の制限・誘導、景観を阻害しているものの整序
- 沿道緑化や敷地内緑化の推進
- 案内表示などサインの充実・統一 など

建築物

■ 壁面の位置【ゆとりの空間確保】

○道路境界線から一定限後退させましょう。（約1m程度）



▲道路境界線近くの壁面は、歩行者に圧迫感を与え、閉鎖的な景観となります。

▲壁面の位置を道路境界線からできる限り後退し、植栽等を行いましょ。

■ 形態意匠【落ち着いたある市街地景観の形成】

○原則として、奇抜な形態は避け、隣接する建築物同士の形態的調和に努めましょう。



▲奇抜なデザインを避け落ち着いた形態にまとめられた住宅の例

■ 外壁及び屋根の色彩【落ち着いたある市街地景観の形成】

○原則として、原色や蛍光色、パステルカラーを避け、できる限り低彩度となるよう努めましょう。



建物の外壁等に用いる色彩は、原色やパステルカラーは避けましょ。

工作物

■ 垣・柵【歴史・文化景観との調和】

○できる限りブロック塀の設置は避け、生垣やデザイン性に配慮した透過性のあるフェンス等としましょう。



緑化

■ シンボルツリー【個性と潤いある街角空間の確保】

○できる限り、交差点部に位置する敷地内には、シンボルツリー等を配置しましょう。



5 住宅・一般市街地ゾーン



現況

市街地の南部では、土地区画整理事業による低層戸建て住宅を中心とした市街地が形成されています。

また、市街地の北部では、現在も土地区画整理事業が進められており、低層戸建て住宅を中心とした市街地が形成されつつあります。

◀住宅地（結城南部）

▼公園



▲住宅地（川木谷）



▲住宅地（結城北部）

目標

- 地区や街区の性格に応じた景観の誘導
- 建築物の立地誘導，質の高い住宅地の形成
- 良好な住環境の形成に配慮した修景整備
- 建築物のデザインや色彩など一体的な景観形成の誘導
- 安全で快適な生活道路の空間などの創出
- 沿道緑化や生垣など敷地内緑化の推進
- 案内表示などサインの充実・統一 など

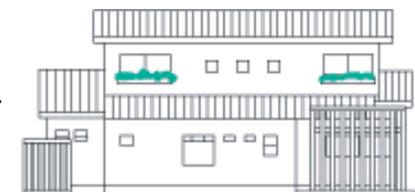
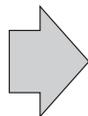
建築物

■ 形態意匠【道路に面する部分の沿道景観等への配慮】

○住宅地として魅力あるデザインとなるよう配慮しましょう。



▲建物北側は、裏口的に利用されることが多く、それに面する沿道や隣接する住戸に対し、雑然とした景観となってしまう景観上あまり好ましくありません。



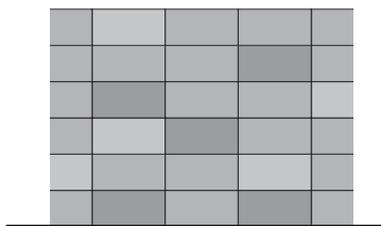
▲通りからの見え方に配慮して、建物の北側についても、窓辺の演出や建築設備等を目隠しするなど、良好な市街地景観の創出に努めましょう。

工作物

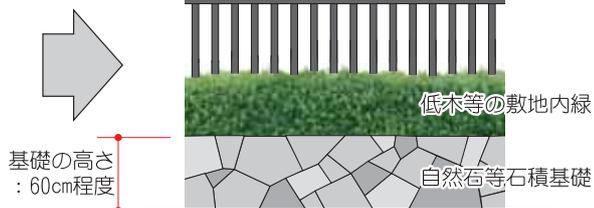
■ 垣・柵【歴史・文化景観との調和】

○できる限りブロック塀の設置は避け、生垣やデザイン性に配慮した透過性のあるフェンス等としましょう。

コンクリートブロック塀



透過性のあるシンプルなフェンス等



緑化

■ 敷地内緑化【うるおいある景観形成】

○敷地規模に余裕のある場合は、できる限り敷地内の緑化に努めましょう。



▲種々の緑を配置しながら、住宅敷地内を積極的に緑化した例

その他

■ 駐車場・駐輪場【うるおいある景観形成】

○できる限り緑化に努めましょう。



▲道路に面する側の緑化により、沿道景観に配慮した例